

交通安全施設
交通協業組合

路面標示技能検定の学科試験

全員合格へ講習会開く

県交通安全施設業協同組合(白鳥和重理事長)は25日、技能検定「路面標示施工(溶融ペイントハンドマーカ―工事作

業)」について、28年度前期の学科試験に向けた講習会を千葉市美浜区のちば仕事プラザで開いた(写真)。組合員企業以

外からも受講を募ったもので、9月4日の学科試験に全員が合格できるよう、受講者は1日かけて講習に取り組んだ。

はじめに白鳥和重理事長があいさつに立ち、建設業界においてもさまざまに資格が非常に重要視されてきていると資格の重要性を指摘し「全員の合格を目指して、頑張っ

てほしい」と受講者にエールを送った。講習では、講師を担当した丸本哲管理事が練習



白鳥理事長



問題の回答について丁寧に解説し、受講生はテキ

ストを手にししながら講師の話に熱心に耳を傾け、真剣な表情でポイントをメモしていた。路面標示施工(溶融ペイントハンドマーカ―工事作業)の技能検定について同

組合では、7月に実施された28年度前期の実技試験にあたり、試験前日には会場設営の準備を行ったほか、試験当日には技能検定委員と補佐員を務めている。